

長野市の公共施設に関する市民アンケート調査結果【概要版】

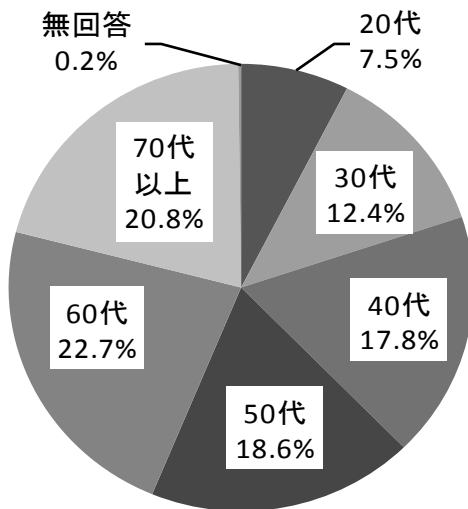
1 調査概要

調査対象先	平成 26 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳により、20 歳以上の市民を地区別年齢順に並び替え、等間隔無作為に 5,000 人を抽出
回答者数	2,976 人（回収率：59.5%）
調査期間	平成 26 年 10 月 17 日（金）（発送日）～平成 26 年 10 月 31 日（金）
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査内容	過去 1 年間の公共施設利用状況、公共施設マネジメントの基本的な考え方に対する賛否、公共施設の複合化・多機能化に対する賛否、利用者負担の見直しに対する考え方、公共施設サービス提供への民間活力の導入に対する賛否 等

※四捨五入の関係から、構成比の合計が 100%にならない箇所があります。

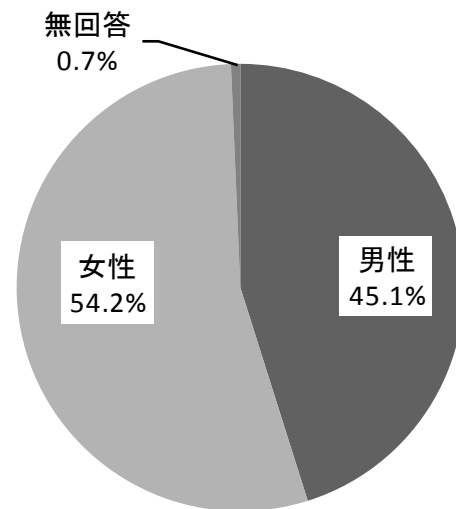
2 調査結果

問 1 あなたの年齢をお答えください。



n=2,976

問 2 あなたの性別をお答えください。



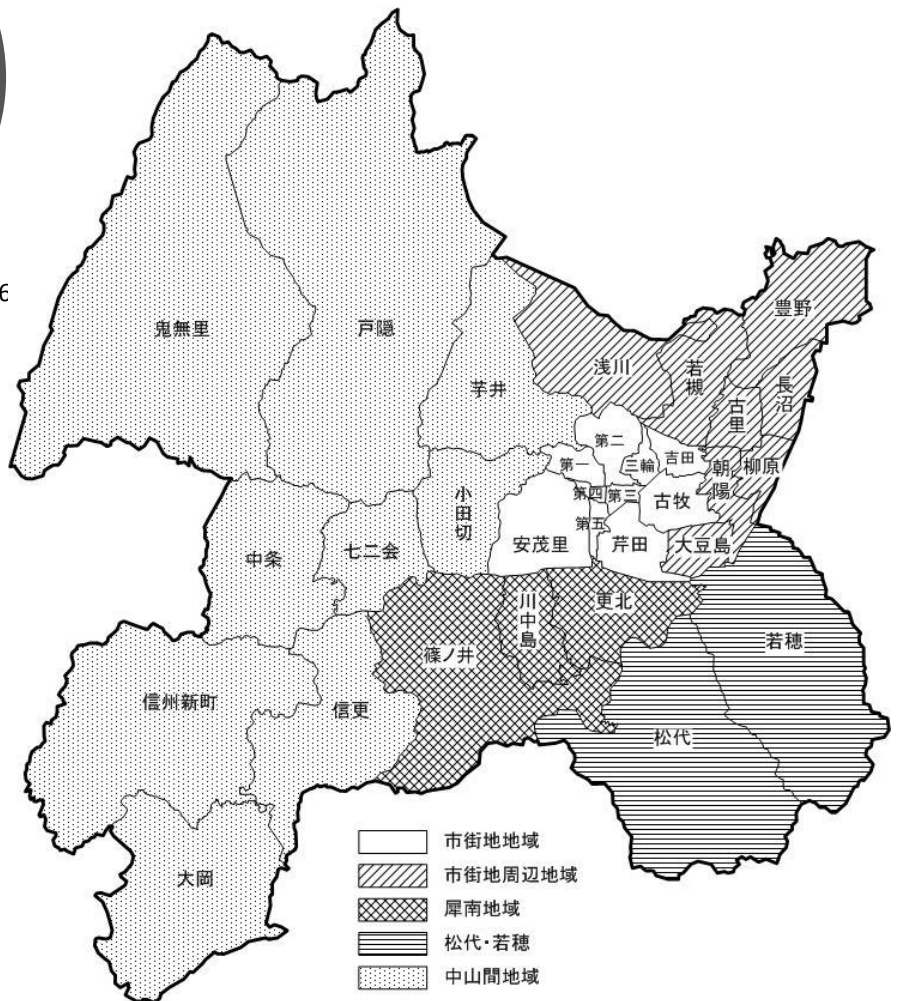
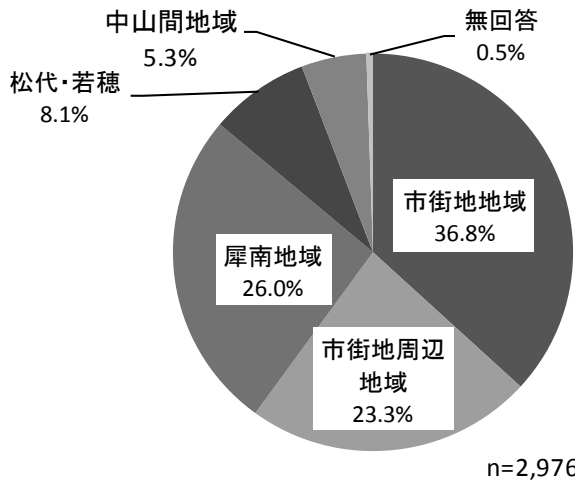
n=2,976

<参考>アンケート郵送数・回収数一覧

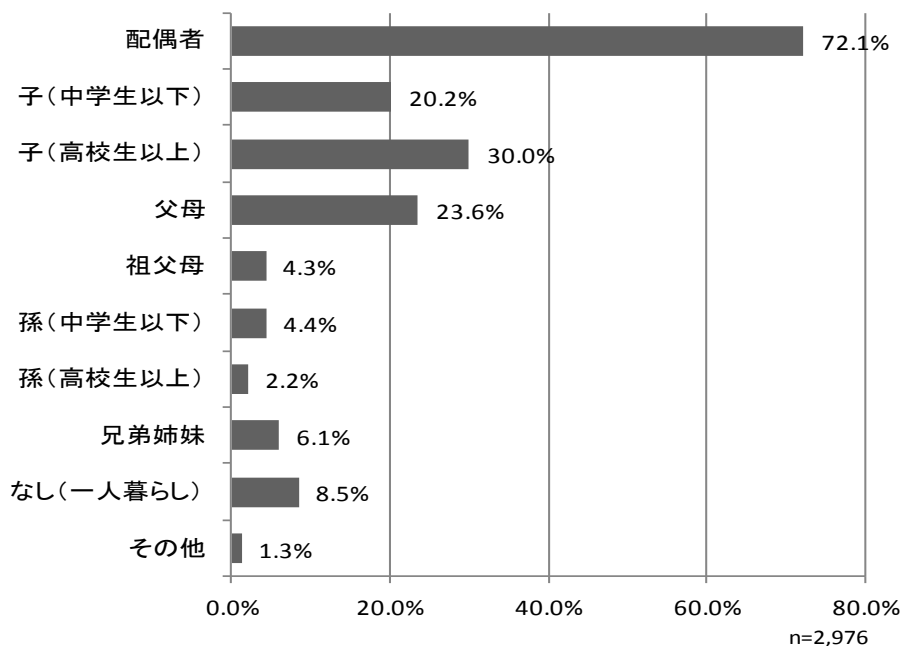
	男性				女性				無回答		合計			
	郵送数		回収数		郵送数		回収数		回収数		郵送数		回収数	
	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合		
20代	327	6.5%	102	3.4%	315	6.3%	122	4.1%	0	0.0%	642	12.8%	224	7.5%
30代	428	8.6%	156	5.2%	400	8.0%	208	7.0%	4	0.1%	828	16.6%	368	12.4%
40代	484	9.7%	234	7.9%	494	9.9%	293	9.8%	2	0.1%	978	19.6%	529	17.8%
50代	417	8.3%	247	8.3%	438	8.8%	305	10.2%	1	0.0%	855	17.1%	553	18.6%
60代	452	9.0%	323	10.9%	481	9.6%	351	11.8%	3	0.1%	933	18.7%	677	22.7%
70代以上	343	6.9%	281	9.4%	421	8.4%	333	11.2%	5	0.2%	764	15.3%	619	20.8%
無回答	—	—	0	0.0%	—	—	1	0.0%	5	0.2%	—	—	6	0.2%
計	2,451	49.0%	1,343	45.1%	2,549	51.0%	1,613	54.2%	20	0.7%	5,000	100.0%	2,976	100.0%

問3 あなたがお住まいの地区をお答えください。

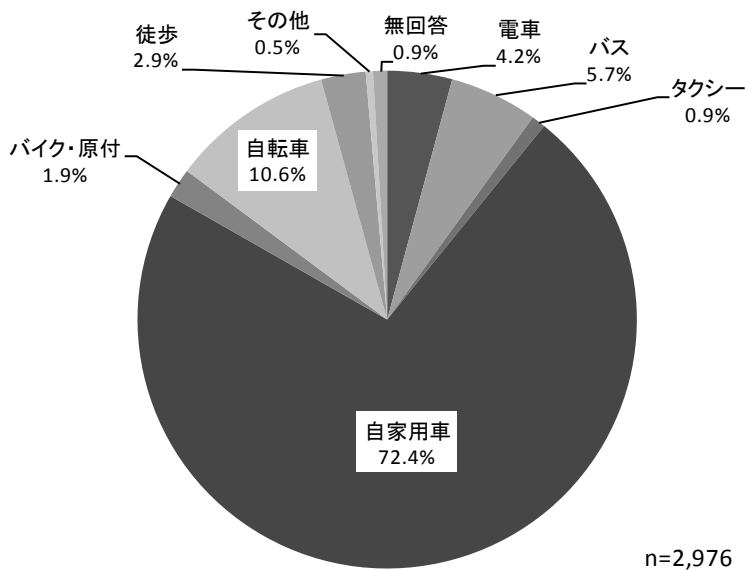
地域区分	地区名	回答数		郵送数	
			割合		割合
市街地地域 (10地区)	第一地区、第二地区、第三地区、第四地区、 第五地区、芹田地区、古牧地区、三輪地区、 吉田地区、安茂里地区	1,094	36.8%	1,847	36.9%
市街地周辺地域 (8地区)	古里地区、柳原地区、浅川地区、大豆島地区、 朝陽地区、若槻地区、長沼地区、豊野地区	693	23.3%	1,153	23.1%
犀南地域 (3地区)	篠ノ井地区、川中島地区、更北地区	775	26.0%	1,336	26.7%
松代・若穂 (2地区)	松代地区、若穂地区	241	8.1%	401	8.0%
中山間地域 (9地区)	小田切地区、芋井地区、七二会地区、信更地区、 戸隠地区、鬼無里地区、大岡地区、 信州新町地区、中条地区	157	5.3%	263	5.3%
無回答		16	0.5%		
計		2,976	100.0%	5,000	100.0%



問4 あなたの家族構成をお答えください。あなたと同居しているご家族すべてに○を付けてください。(続柄は、あなたから見たものとします)(複数回答)

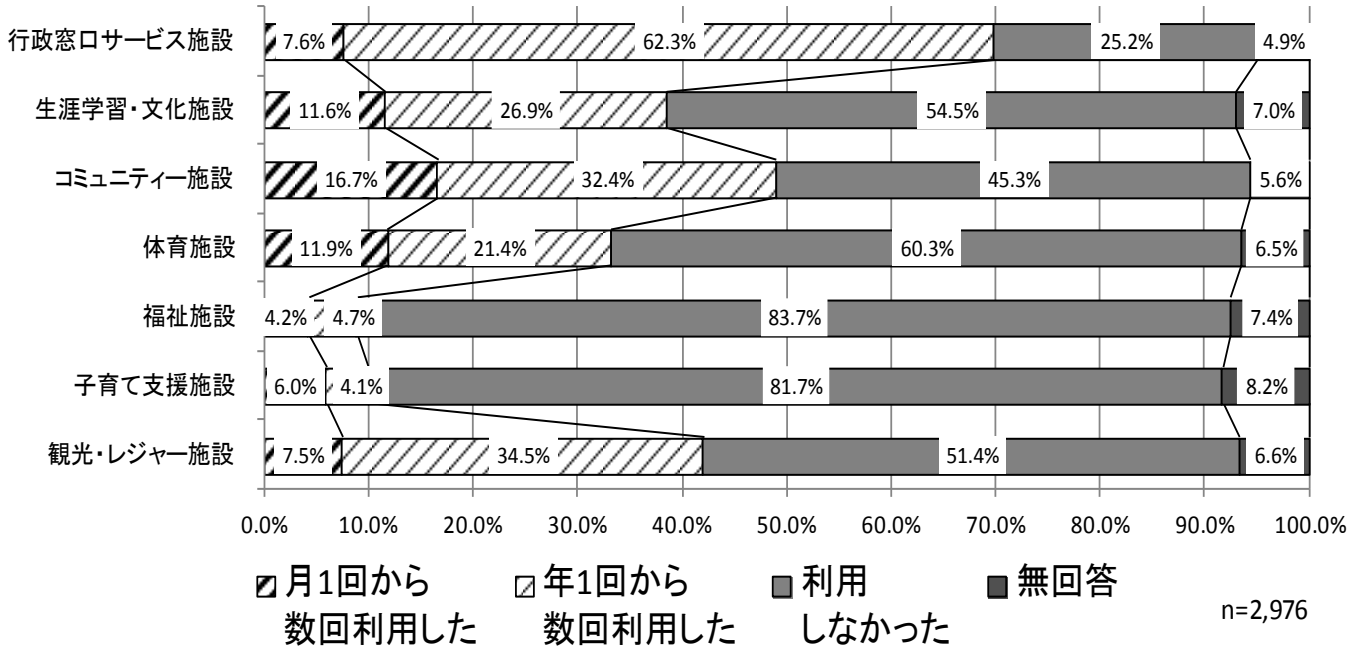


問5 あなたが日頃最も多く利用する交通手段を1つお答えください。



	電車		バス		タクシー		自家用車		バイク・原付		自転車		徒歩		その他		無回答		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
20代	20	8.9%	14	6.3%	1	0.4%	125	55.8%	7	3.1%	38	17.0%	14	6.3%	2	0.9%	3	1.3%	224
30代	17	4.6%	14	3.8%	0	0.0%	279	75.8%	6	1.6%	36	9.8%	13	3.5%	3	0.8%	0	0.0%	368
40代	28	5.3%	22	4.2%	0	0.0%	393	74.3%	11	2.1%	56	10.6%	13	2.5%	3	0.6%	3	0.6%	529
50代	25	4.5%	23	4.2%	1	0.2%	441	79.7%	4	0.7%	41	7.4%	13	2.4%	0	0.0%	5	0.9%	553
60代	23	3.4%	22	3.2%	5	0.7%	521	77.0%	12	1.8%	71	10.5%	16	2.4%	1	0.1%	6	0.9%	677
70代以上	12	1.9%	73	11.8%	20	3.2%	396	64.0%	17	2.7%	71	11.5%	17	2.7%	5	0.8%	8	1.3%	619
無回答	0	0.0%	2	33.3%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	33.3%	6
計	125	4.2%	170	5.7%	27	0.9%	2,156	72.4%	57	1.9%	314	10.6%	86	2.9%	14	0.5%	27	0.9%	2,976

問6 あなたは、過去1年間に市の公共施設をどの程度利用されましたか。施設の種類ごとに、利用回数が近いものを選んで、表の中の当てはまる番号に○をつけてください。また、「3」（利用しなかった）に○をつけた施設については、その理由を下の【利用しなかった理由】の中から1つ選び、当てはまる番号を記入してください。

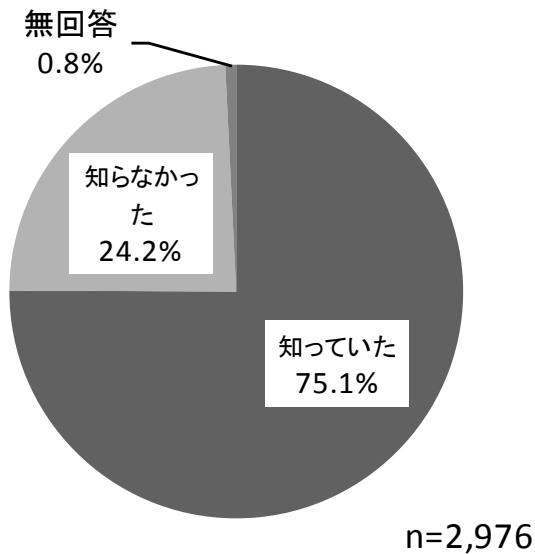


	利用しなかった理由														
	回答数	行くまでの交通の便が悪い		希望時間に利用できない		施設や利用方法を知らない		同種の民間施設を利用している		利用の必要がない		その他		無回答	
			割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合			
行政窓口サービス施設	749	13	1.7%	34	4.5%	32	4.3%	8	1.1%	591	78.9%	32	4.3%	39	5.2%
生涯学習・文化施設	1,621	61	3.8%	108	6.7%	113	7.0%	51	3.1%	1,108	68.4%	78	4.8%	102	6.3%
コミュニティー施設	1,348	14	1.0%	39	2.9%	91	6.8%	20	1.5%	1,057	78.4%	51	3.8%	76	5.6%
体育施設	1,794	49	2.7%	78	4.3%	115	6.4%	100	5.6%	1,251	69.7%	91	5.1%	110	6.1%
福祉施設	2,492	20	0.8%	32	1.3%	79	3.2%	30	1.2%	2,129	85.4%	56	2.2%	146	5.9%
子育て支援施設	2,432	19	0.8%	27	1.1%	59	2.4%	24	1.0%	2,116	87.0%	49	2.0%	138	5.7%
観光・レジャー施設	1,529	54	3.5%	41	2.7%	130	8.5%	171	11.2%	956	62.5%	98	6.4%	79	5.2%

問7 平成24年12月に発生した中央自動車道・笹子トンネルの天井板崩落事故に象徴されるように、昭和40～50年代の高度経済成長期に整備された社会インフラ（道路や橋など）や公共施設が老朽化し、全国的な社会問題となっています。

長野市の公共施設も同様に、老朽化が進んでいることをご存知でしたか。

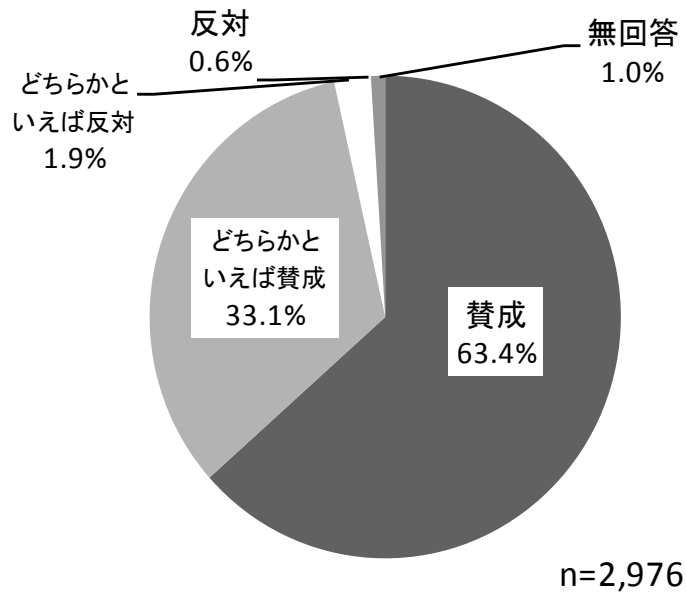
- ① 知っていた
- ② 知らなかった



	知っていた		知らなかった		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
20代	128	57.1%	96	42.9%	0	0.0%
30代	247	67.1%	121	32.9%	0	0.0%
40代	385	72.8%	139	26.3%	5	0.9%
50代	438	79.2%	114	20.6%	1	0.2%
60代	539	79.6%	132	19.5%	6	0.9%
70代以上	494	79.8%	116	18.7%	9	1.5%
無回答	3	50.0%	1	16.7%	2	33.3%
	2,234	75.1%	719	24.2%	23	0.8%

問8 長野市は、将来の人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化に対応するため、できるかぎり今までのサービスを維持しながら、施設の適正な配置と規模への見直しを行っていく必要があると考えています。この考え方についてどう思われますか。

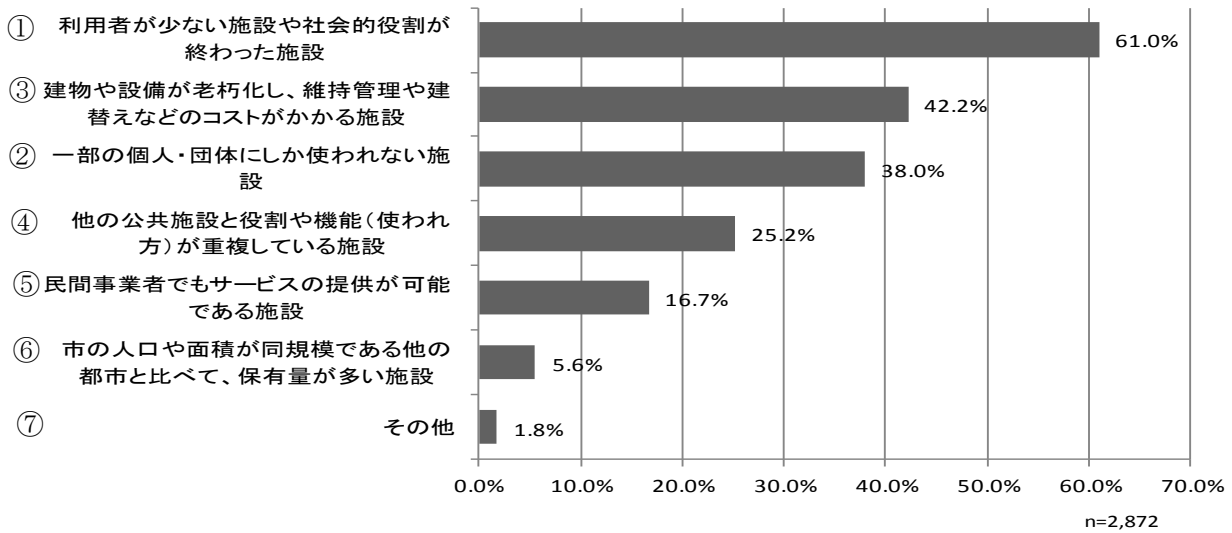
- ① 賛成である
- ② どちらかといえば賛成である
- ③ どちらかといえば反対である
- ④ 反対である



	賛成		どちらかとい えば賛成		どちらかとい えば反対		反対		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
20代	143	63.8%	74	33.0%	5	2.2%	2	0.9%	0	0.0%
30代	218	59.2%	139	37.8%	5	1.4%	5	1.4%	1	0.3%
40代	321	60.7%	188	35.5%	9	1.7%	3	0.6%	8	1.5%
50代	345	62.4%	194	35.1%	8	1.4%	5	0.9%	1	0.2%
60代	458	67.7%	198	29.2%	12	1.8%	2	0.3%	7	1.0%
70代以上	400	64.6%	190	30.7%	16	2.6%	2	0.3%	11	1.8%
無回答	2	33.3%	2	33.3%	1	16.7%	0	0.0%	1	16.7%
計	1,887	63.4%	985	33.1%	56	1.9%	19	0.6%	29	1.0%

問9 「問8」で「1賛成である」または「2どちらかといえば賛成である」とお答えになった方は、どのような施設から優先的に見直しを実施すべきと思われますか。あなたの考えに最も近いものを2つ選んでください。「その他」の場合は自由に記載してください。(複数回答)

- ① 利用者が少ない施設や社会的役割が終わった施設
- ② 一部の個人・団体にしか使われない施設
- ③ 建物や設備が老朽化し、維持管理や建替えなどのコストがかかる施設
- ④ 他の公共施設と役割や機能(使われ方)が重複している施設
- ⑤ 民間事業者でもサービスの提供が可能である施設
- ⑥ 市の人口や面積が同規模である他の都市と比べて、保有量が多い施設
- ⑦ その他



問10 「問8」で「3どちらかといえば反対である」または「4反対である」とお答えになった方は、その理由をお聴かせください。

問8で「3どちらかといえば反対である」、「4反対である」と回答した人数 75人
うち理由の記載があった人数 53人

主な意見	人数
・無理にサービスをせず、身の丈にあったサービスにすべき。 ・サービス維持にこだわる必要なし。 ・税金が上がる。負担増はいや。 など	16
・遠くなる可能性が出てくる。 ・昔から利用しており統廃合されると不便。 ・高齢化するので近くの施設が必要。 ・中山間地を大事に。 など	19
・人口が減らない努力も必要。 ・具体的な諸案が提示され、納得できれば賛成 など	18

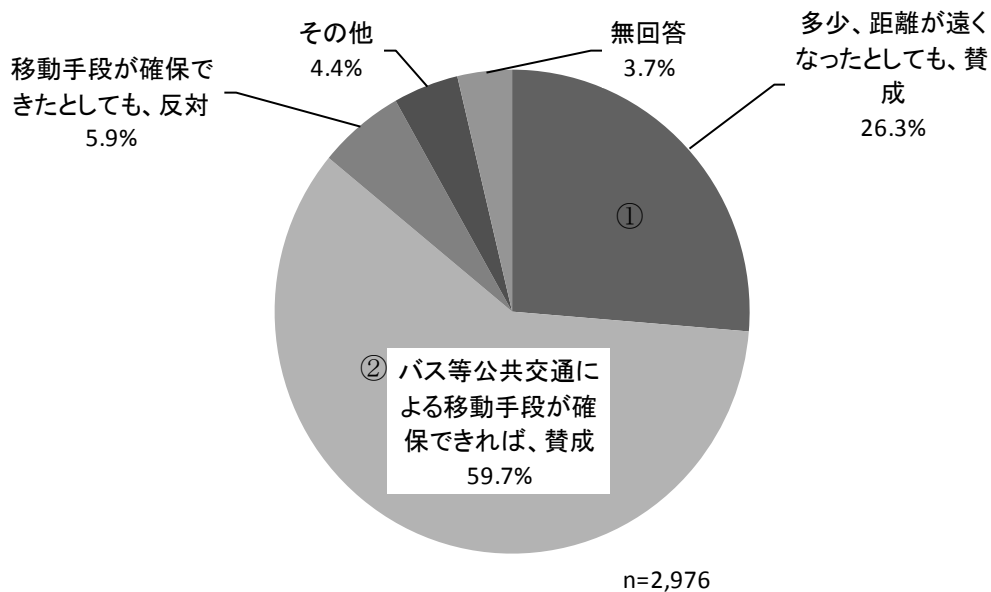
問 11 長野市は今後、人口減少や少子高齢化が進んでいく時代の変化に対応し、効果的、効率的に公共施設の量を縮小していく一つの方法として、施設の複合化・多機能化※に取り組んでいこうと考えています。

施設の複合化・多機能化を進めていくと、サービスを受ける場所が、現在ある施設の場所から遠くなることも考えられます。このことについてどう思われますか。

※施設の複合化・多機能化とは

いくつかの行政サービスを1つの施設に集約したり、1つの施設でいろいろな利用方法を展開することで、利用者の利便性を高める施設とするものです。複合化は、ホール、階段、廊下などを共有することにより、施設の維持管理にかかる経費を抑える効果があり、多機能化は、子どもから高齢者までの多世代が利用することにより、世代間の交流なども期待されます。

- ① 多少、距離が遠くなったとしても、賛成である
- ② バスなど公共交通による移動手段が確保できれば、賛成である
- ③ 移動手段が確保できたとしても、反対である
- ④ その他



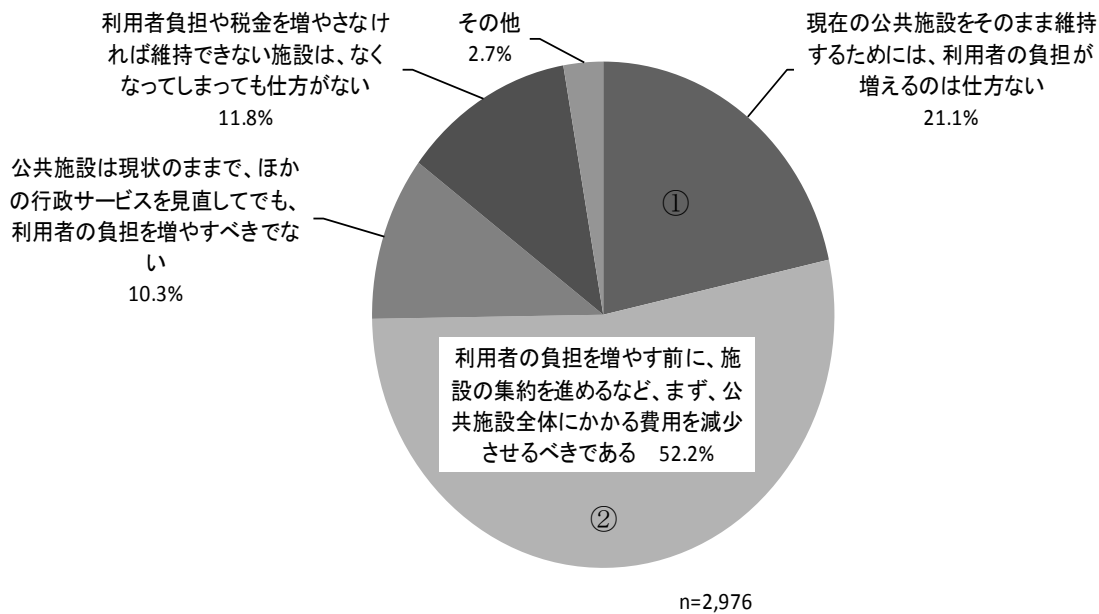
	① 多少、距離が遠くなったとしても賛成		② 公共交通による移動手段確保で賛成		③ 移動手段確保できても反対		④ その他		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
20代	44	19.6%	157	70.1%	12	5.4%	6	2.7%	5	2.2%
30代	105	28.5%	202	54.9%	23	6.3%	28	7.6%	10	2.7%
40代	148	28.0%	305	57.7%	31	5.9%	27	5.1%	18	3.4%
50代	132	23.9%	352	63.7%	35	6.3%	20	3.6%	14	2.5%
60代	185	27.3%	395	58.3%	47	6.9%	34	5.0%	16	2.4%
70代以上	169	27.3%	361	58.3%	27	4.4%	17	2.7%	45	7.3%
無回答	0	0.0%	4	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	33.3%
計	783	26.3%	1,776	59.7%	175	5.9%	132	4.4%	110	3.7%

問 12 長野市は今後、生産年齢人口※の減少による市税収入の減が見込まれるなど、財政状況がより厳しくなっていく一方で、公共施設の老朽化によって、改修や建替えのための費用が増加していくと予測されます。

このため、今まで無料であった施設の使用料を有料にするなど、使用料を見直すことも考えられます。施設の使用料の見直しについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

※生産年齢人口とは、年齢別人口のうち労働力の中核をなす15歳以上65歳未満の人口層

- ① 現在の公共施設をそのまま維持するためには、利用者の負担が増えるのは仕方がない
- ② 利用者の負担を増やす前に、施設の集約を進めるなど、まず、公共施設全体にかかる費用を減少させるべきである
- ③ 公共施設は現状のままで、ほかの行政サービスを見直してでも、利用者の負担は増やすべきではない
- ④ 利用者負担や税金を増やさなければ維持できない施設は、なくなってしまうのも仕方がない
- ⑤ その他

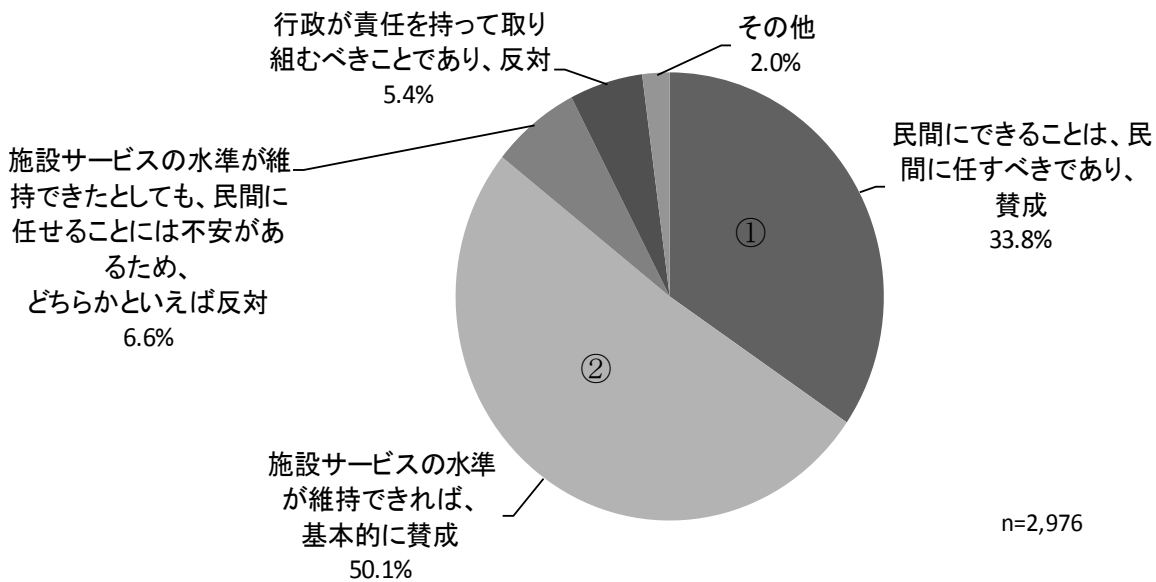


	①		②		③		④		⑤		無回答	
	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	
20代	42	18.8%	119	53.1%	30	13.4%	28	12.5%	3	1.3%	2	0.9%
30代	52	14.1%	207	56.3%	48	13.0%	44	12.0%	15	4.1%	2	0.5%
40代	101	19.1%	310	58.6%	36	6.8%	53	10.0%	22	4.2%	7	1.3%
50代	116	21.0%	297	53.7%	59	10.7%	59	10.7%	16	2.9%	6	1.1%
60代	161	23.8%	344	50.8%	61	9.0%	86	12.7%	18	2.7%	7	1.0%
70代以上	155	25.0%	274	44.3%	71	11.5%	79	12.8%	7	1.1%	33	5.3%
無回答	1	16.7%	2	33.3%	1	16.7%	1	16.7%	0	0.0%	1	16.7%
計	628	21.1%	1,553	52.2%	306	10.3%	350	11.8%	81	2.7%	58	1.9%

問 13 長野市は今後、財政状況がより厳しくなっていく一方で、公共施設の維持管理、改修や建替え費用が増加していくと予測されることから、行政だけで対応していくことは相当な困難が予想されます。

そのため、民間の資金やノウハウ（技術・知識）の活用など、公共施設サービスの提供に民間活力の導入を積極的に進めていきたいと考えていますが、このことについてどう思われますか。

- ① 民間にできることは、民間へ任すべきであり、賛成である
- ② 施設サービスの水準が維持できれば、基本的には賛成である
- ③ 施設サービスの水準が維持できたとしても、民間にまかせることには不安があるため、どちらかといえば反対である
- ④ 行政が責任を持って取り組むべきことであり、反対である
- ⑤ その他



	①		②		③		④		⑤		無回答	
	民間に任せるべきであり、賛成	割合	施設サービスの水準が維持出来れば、基本的に賛成	割合	民間に任せるのは不安があるため、どちらかといえば反対	割合	行政が責任を持って取り組むべきであり、反対	割合	割合	割合	割合	
20代	66	29.5%	125	55.8%	18	8.0%	9	4.0%	3	1.3%	3	1.3%
30代	135	36.7%	187	50.8%	20	5.4%	13	3.5%	9	2.4%	4	1.1%
40代	198	37.4%	263	49.7%	25	4.7%	25	4.7%	12	2.3%	6	1.1%
50代	172	31.1%	300	54.2%	33	6.0%	27	4.9%	16	2.9%	5	0.9%
60代	232	34.3%	332	49.0%	56	8.3%	36	5.3%	12	1.8%	9	1.3%
70代以上	200	32.3%	282	45.6%	44	7.1%	50	8.1%	8	1.3%	35	5.7%
無回答	2	33.3%	2	33.3%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	1	16.7%
計	1,005	33.8%	1,491	50.1%	196	6.6%	161	5.4%	60	2.0%	63	2.1%

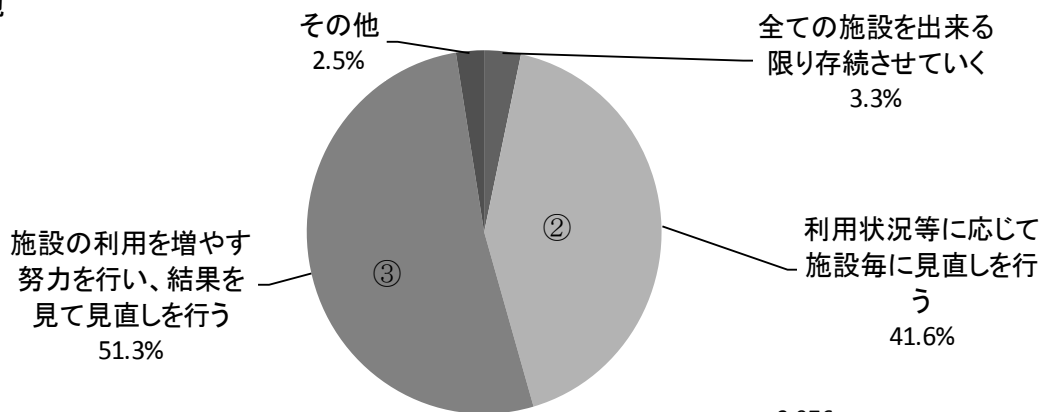
問 14 長野市は、1998 年（平成 10 年）2 月にオリンピック・パラリンピック冬季競技大会を開催し、大会会場であった大規模なオリンピック施設※は、現在も市が多くの費用※をかけて維持管理を行っています。このオリンピック施設も、いずれは老朽化による大規模改修や更新（建替え）の時期を迎えることとなりますが、オリンピック施設の将来について、どのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを 1 つ選んでください。

※オリンピック施設とは	(H24 年度利用者数)	(所在地)
■エムウェーブ（多目的アリーナ・冬季スケート場）	約 38 万人	北長池
■ビッグハット（多目的アリーナ）	約 40 万人	若里
■長野オリンピックスタジアム（野球場）	約 10 万人	篠ノ井
■ホワイトリング（体育館）	約 17 万人	真島
■アクアウイング（プール）	約 11 万人	吉田
■スパイラル（ボブスレー・リュージュ競技施設）	約 0.5 万人	中曽根

※オリンピック施設の維持管理にかかる費用の年額（平成 24 年度）

オリンピック施設全体では約 10 億円となっていますが、施設利用者からの使用料（約 4 億円）と国からの補助金（約 2 億円）を差し引くと、市の負担額は、年間約 4 億円となります。

- ① 冬季オリンピック・パラリンピック開催の記念であり、施設の維持管理に多くの費用がかかっても、全ての施設をできる限り存続させていく
- ② 施設の維持管理に多くの費用がかかるのであれば、他の一般施設と同じく、利用状況などに応じて、施設ごとに見直しを行っていく
- ③ まずは、各種スポーツ大会やイベント会場として積極的に活用するなど、施設の利用を増やす努力を行い、その結果を見て施設の見直しを行っていく
- ④ その他

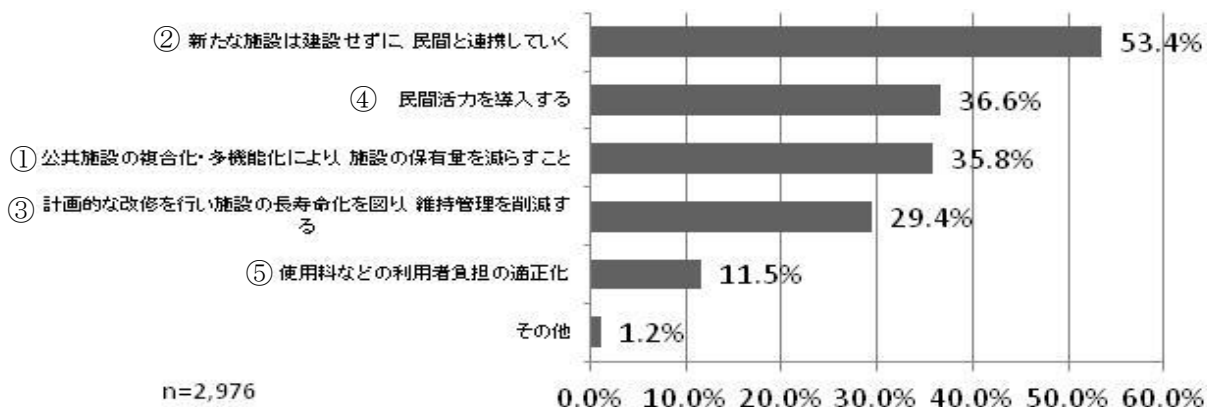


	① 全ての施設を出来る限り存続		② 利用状況に応じて施設毎に見直し		③ 利用を増やす努力を行い、その結果見直しを行う		④ その他		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
20代	18	8.0%	70	31.3%	132	58.9%	4	1.8%	0	0.0%
30代	13	3.5%	138	37.5%	203	55.2%	11	3.0%	3	0.8%
40代	12	2.3%	205	38.8%	296	56.0%	15	2.8%	1	0.2%
50代	19	3.4%	227	41.0%	293	53.0%	13	2.4%	1	0.2%
60代	20	3.0%	308	45.5%	325	48.0%	17	2.5%	7	1.0%
70代以上	15	2.4%	289	46.7%	276	44.6%	15	2.4%	24	3.9%
無回答	1	16.7%	2	33.3%	1	16.7%	0	0.0%	2	33.3%
計	98	3.3%	1,239	41.6%	1,526	51.3%	75	2.5%	38	1.3%

問 15 長野市が公共施設マネジメントを進めていくにあたり、特に期待することは何ですか。あなたの考えに近いものを2つ選んでください。(複数回答)

※公共施設マネジメントとは、将来の人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化に対応するため、公共施設のあるべき姿を検討し、公共施設の「量」と「質」を見直す取組です。

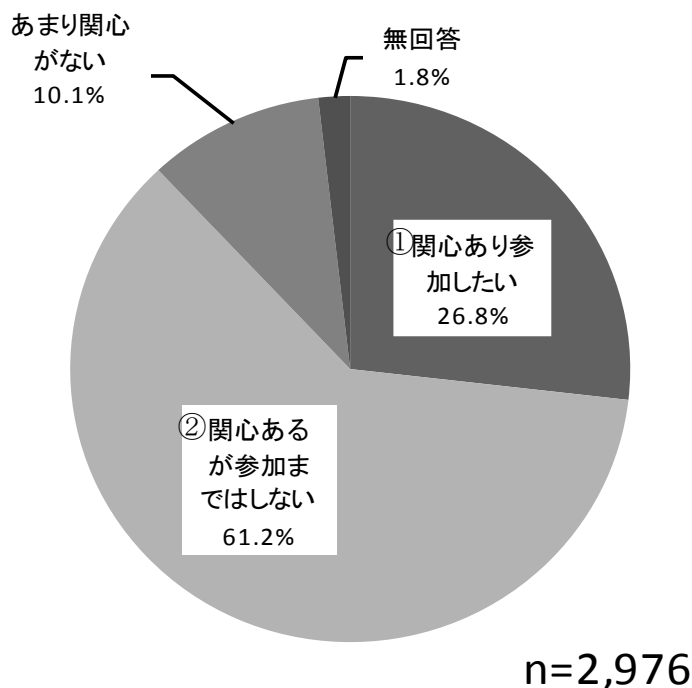
- ① 公共施設の複合化・多機能化により、施設の保有量を減らすこと
- ② 新たな施設は建設せずに、民間などで同様のサービスを行っている場合は、それらの施設を利用し、連携していくこと
- ③ 計画的な改修を行って、施設の長寿命化を図り、施設の建替えや維持管理にかかる費用を減らすこと
- ④ 施設の管理運営や改修・建替えや民間のアイデアを募ったり、民間資金を活用するなど民間活力を導入すること
- ⑤ 使用料などの利用者負担の適正化を図ること
- ⑥ その他



	①		②		③		④		⑤		その他	
	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	
20代	84	37.5%	120	53.6%	86	38.4%	71	31.7%	34	15.2%	1	0.4%
30代	139	37.8%	207	56.3%	118	32.1%	137	37.2%	40	10.9%	5	1.4%
40代	197	37.2%	290	54.8%	154	29.1%	194	36.7%	63	11.9%	11	2.1%
50代	190	34.4%	286	51.7%	170	30.7%	231	41.8%	49	8.9%	6	1.1%
60代	257	38.0%	383	56.6%	174	25.7%	252	37.2%	72	10.6%	7	1.0%
70代以上	197	31.8%	303	48.9%	172	27.8%	203	32.8%	85	13.7%	6	1.0%
無回答	2	33.3%	1	16.7%	2	33.3%	2	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,066	35.8%	1,590	53.4%	876	29.4%	1,090	36.6%	343	11.5%	36	1.2%

問 16 長野市は今後、公共施設の統廃合や複合化・多機能化など、公共施設マネジメントの取組について、市民の皆様へ説明会などを実施していく予定ですが、ご関心はありますか。

- ① 関心があるので、都合がつけば、参加したい
- ② 関心はあるが、参加まではしない
- ③ あまり関心がない



	①		②		あまり関心がない		無回答	
	関心あり、参加したい	割合	関心あるが、参加まではしない	割合	割合	割合	割合	
20代	42	18.8%	137	61.2%	44	19.6%	1	0.4%
30代	69	18.8%	241	65.5%	56	15.2%	2	0.5%
40代	131	24.8%	339	64.1%	54	10.2%	5	0.9%
50代	122	22.1%	376	68.0%	53	9.6%	2	0.4%
60代	233	34.4%	387	57.2%	42	6.2%	15	2.2%
70代以上	198	32.0%	342	55.3%	51	8.2%	28	4.5%
無回答	3	50.0%	0	0.0%	2	33.3%	1	16.7%
計	798	26.8%	1,822	61.2%	302	10.1%	54	1.8%

問 17 長野市の公共施設マネジメントについて、ご意見がございましたらご記入ください。
(自由記載)